

Weekly Report

2023 ~ 2024 年度

令和5年10月10日(火)

第2124回例会



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブ
の活動は、地域の発展に
大きく貢献している。これ
からも、より一層、社会
に貢献できるよう努力す
る。この活動を通じて、
多くの人々を笑顔にし、
希望を生み出すことを
目指す。これからも、
皆様と共に、地域を
盛り上げていく。令和
5年10月10日
大友 大

◆ 会長/親松 裕明 ◆ 幹事/菅 泰博 ◆ 会報/中村 和広

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第2124回例会記録 令和5年10月10日(火) 14/44回

<点鐘>

親松会長

のお願い

10/22(日)13:00~16:30

<ソング> それでこそロータリー

3. 第57回神奈川県ロータリアン親睦テニス会の案内
11/12(日)13:30~ 湘南ローンテニスクラブ
4. 第1回川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)実行委員会の報告

<お客様ご紹介>

親松会長

地区米山記念奨学委員長 横浜あざみRC 小野邊薫様、地区米山奨学金増進委員長 横浜RC 板橋克尚様、地区米山奨学金増進委員 角野弘幸様
米山奨学生 金多情さん→「8月に韓国に帰省し家族と過ごしました。今は4年生最後の学期が始まっています。来年3月、米山奨学生を卒業する頃に大学のホールで演奏会があるので、皆さんをご招待したいと思います。これからも頑張ります」。
小野邊地区米山記念奨学委員長より金さんに奨学金が渡されました。

<幹事報告>

菅幹事

*当クラブ例会

10/17(火) 財団セミナー報告

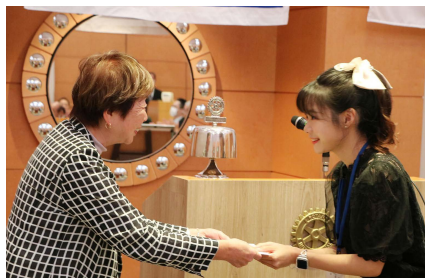
10/24(火) 休会 地区大会記念チャリティーゴルフ大会

10/31(火) 会員卓話

*近隣クラブ例会変更・案内

川崎北RC、川崎マリーンRC

*鴨志田会員へお見舞い金が渡されました。



<ニコニコ委員会>

井上久委員長

地区米山記念奨学委員長 横浜あざみRC 小野邊薫様→「本日は、親松会長にお声がけ頂き米山の一員として例会に出席させていただきます。どうか宜しくお願い申し上げます」。地区米山奨学金増進委員長 横浜RC 板橋克尚様→「小野邊委員長のお伴で来ました。本日はよろしくお願いたします」。地区米山奨学金増進委員 神奈川東RC 角野弘幸様→「小野邊米山委員長のお伴で参りました。本日はよろしくお願いたします」当クラブより、親松会長→「小

<会長報告>

親松会長

1. 川崎西RCに次年度ガバナー補佐の件でメイクアップに行きました。
2. RID2590主催世界ポリオデー (10/22)参加・応援

第2126回 10月31日 会員卓話

第2127回 11月10・11日 地区大会

第2128回 11月14日 会員卓話

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

野邊様、板橋様、角野様ようこそ来て下さりありがとうございます。菅幹事→「あさお区民祭にご参加の皆様大変お疲れ様でした」。大矢会員→「麻生病院の菅先生に大変お世話になりました」。大野会員→「親の香典と妻のお花を有難うございました!!」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤美恵子会員、福家会員、畑山会員、平岡会員、伊藤会員、鴨志田会員、菊池会員、北島会員、小島会員、近藤会員、小塚会員、中島眞一会員、中島健児会員、中村会員、江田会員、左藤会員、関田会員、白井会員、鈴木孝英会員、鈴木清会員、渡邊会員、結城会員、井上久会員。

<出席委員会>

白井委員

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第2124回	45	31	14		68.89%
第2123回	45	35	10	3	84.44%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	30件	57,000円	399件	495,000円
財団	0件	0円	11件	216,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	1,000 \$
米山	0件	0円	10件	159,000円

本日のプログラム

<招聘卓話>

卓話者紹介

親松会長

小野邊委員長は横浜あざみRCに2010年に入会しました。クラブ幹事、クラブ会長をそれぞれ2回つとめられました。米山の推進、学友等歴任されております。

地区米山記念奨学委員会

小野邊薫委員長

横浜あざみRCより参りました。今年度地区米山記念奨学委員長をつとめさせて頂いております。今日は米山の事について話したいと思います。スライドの写真は1954年にロータリーが第1号の米山記念奨学生としてタイから招聘しましたソムチャード氏です。ソムチャード氏の帰国に際しまして東京RCからバンコクRCに寄せられた文面には奨学生への溢れる愛情と期待がにじみでています。「いよいよソムチャードさんが日本での勉学を終え、帰国します。我々が彼に期待することはただ一つ、今後タ

イと日本のために活躍してくれることです。彼は日本で多くのことを学びました。楽しいことばかりではなかったと思いますが、人間は基本的に同じであるとわかってくれたはずで。これはロータリーにおける信念であり、人間は世界の人々と友情を育むことができる、そう我々は証明したい」。ソムチャードさんは日本で学んだ技術を生かしてタイシルクの発展に貢献しました。

米山記念奨学事業とは日本のロータリー独自の事業です。日本で学ぶ外国人留学生を支援して日本とそれぞれの母国の架け橋となってくれる人材を育てることを目的としています。事業の一番根幹は世話クラブ、カウンセラー制度、この2つが柱となって成り立っております。米山記念奨学事業は米山梅吉氏が始めた事業ではありません。米山梅吉氏のロータリーを設立した功績、人徳をしのび、私たちも米山梅吉氏の意向に沿った活動をしていこうではないかということで始まったのが米山記念奨学事業です。米山基金ができあがってから昨年2022年で70年が経ちました。米山記念奨学事業は国内最大級の奨学事業です。2023年には900人の奨学生がおり累計では23,509人となります。内訳としては中国からの留学生が最も多く次にベトナムからとなっております。奨学生の選考には全国統一の基準を作っています。勉学への意欲がある方、人間性、コミュニケーション力、将来日本との懸け橋となりうる人材かどうかを見極めて選考しております。家庭状況、経済状況は評価の対象外です。世話クラブに配属されてから、その奨学生の人柄、交流への熱意をじっくり見てもらう必要があります。



米山記念奨学事業の概要

- ・日本のロータリー**独自**の事業
(RIが定める多地区合同活動の完了)
- ・日本で学ぶ**外国人留学生**を支援
(公益財団法人を設立し運営)
- ・**世話クラブ・カウンセラー制度**で交流を重視
“人を育てる事業”

<点鐘>

親松会長